

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第119号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2012年10月号



【 今月のコンテンツ 】

- オフィス架け橋【連載10】行政書士 特定社会保険労務士 松田 健 …………… 1
- 企業経営者に話を聴く（第8回）
株式会社サンフォーレ 代表取締役 堀井 利修氏 …………… 2
- 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 …………… 3、4、5
- 「新事業・新技術支援フォーラム」（略称：戦略会議）の報告（その3） …………… 5
- 産学官交流サロンコーナー …………… 6
- 事務局コーナー …………… 6

オフィス架け橋
 行政書士 特定社会保険労務士
 松田 健

<http://kakehashi-yokohama.web.officelive.com/shiminhou.mu.aspx>

【 連載 その10 】 高年齢者等の雇用の助成金・奨励金について

団塊世代の定年退職が山場を過ぎようとしている今、その方達の培ってきた力と技術力が埋もれてしまつては日本にとつても非常に大きな損失です。

事業主はこの経験豊富な質の高い人材を確保しなければ世界の競争に勝つことが難しいかもしれません。

助成金をうまく活用しながら、会社の体質を強くするきっかけにされてはいかがでしょうか？

【 中小企業定年引上げ等奨励金 】

六十五歳まで希望者全員が安心して働ける企業や七十歳まで働ける企業の普及を図るため、就業規則等により、六十五歳以上への定年の引上げ、定年の定め廃止又は七十歳以上までの継続雇用制度の導入を行う中小企業事業主の方に対し、導入した制度に応じて最高で**百二十万円を支給**します。また、同時に高年齢者の勤務時間を多様化する制度を導入した場合は、**一律二十万円を支給**します。

【 高年齢者職域拡大等助成金 】

高年齢者の意欲と能力を活かすため、希望者全員が六十五歳以上まで働くことができる制度の導入又は七十歳以上まで働くことができる制度の導入にあわせて高年齢者の雇用管理制度の構築や高年齢者の職域の拡大に取り組み、高年齢者がいきいきと働ける職場の整備を行う事業主の方に対し、当該取組に係る**経費の3分の1に相当する額を、五百万円を限度として支給**します。

【 高年齢者労働移動受入企業 助成金 】

高年齢者の円滑な労働移動の促進を図るため、定年を控えた高年齢者で、その知識や経験を活かすことができる他の企業への雇用を希望する方を職業紹介事業者の紹介により、失業を経ることなく雇い入れる**事業主の方に対し、雇入れ1人につき七十万円（短時間労働者四十万円）を支給**します。本助成金は平成二十四年四月六日以降に当該高年齢者を雇い入れた事業主の方が対象となります。

【 企業経営者に話を聴く】 (第8回)

< 異グ連スタッフ勉強会 >

株式会社 サンフォーレ 代表取締役 堀井 利修 氏

～30年の実績があなたの老後の不安を除きます～

<http://www.sunforet.co.jp>



編集部：宗和

株式会社サンフォーレの代表取締役の堀井 利修氏に話を伺いました。

株式会社サンフォーレの立ち上げは1983年で、地域に根差した小規模ホームを展開しており、湘南に12の施設を運営しています。今でこそ小規模ホームも見かける様になりましたが、当時は「福祉は行政の仕事」とか「小規模ホームは経営が成り立たない」と行政は認可を出さず、許可を得るのに10年以上かかった苦労があった様です。当初は鎌倉に実験館を建て、制度で規定された官制サービスと違いサンフォーレでは一人ひとりの異なる生き方を基盤にした利用者中心の支え方を「スキル化」したのが特徴。その結果、第一回神奈川県新企業創出オーディション優秀賞受賞、第8回ニュービジネス大賞優秀賞受賞など高い評価を受け、現在に至っています。

私達の知っている一般的なホームは大規模でサービスは分業型、身体的サポートがサービスの中心ですが、ここサンフォーレでは暖かさを感じる家庭的サービスを提供しています。人としての楽しみである「食」＝栄養へのこだわりだけでなく、精神面＝孤独や癒しのサポートを「スキル化」しています。また、「元気な時だけでなく旅立ちにも満足して頂きたい」という観点から一般には5～10%程度と云われる“看取り”もご本人とご家族の希望で100%に至っています。

しかしながら、21世紀に入り社会保障費が国の歳出の1/3を超えるに至り、この深刻な課題に民間としても取り組まざるをえないと考え、新分野として“健康寿命＝ピンピンコロリサービス”を始められました。①栄養＝おいしくて取りやすい：独居シニアの7～80%が栄養不良で病気と介護の予備軍で、その対策として美味で食べやすい湘南薬膳スープを開発。②就業＝65歳定年、寿命100歳間の経済力：社会が雇用の機会を用意する。③絆＝東日本震災の際は地域コミュニティーが機能した：周りに助けあえる仲間がいない都市の会社人間にりせつとかふえでのつながりの場を提供する。

これらを包括した『薬膳スープかふえ』（りせつとCaféの店舗展開）事業は次世代のモデルケースになるのではないかと感じました。

次回は11月5日（月）瀬戸建設（株） 代表取締役社長 瀬戸 良幸 氏 のお話（第9回）です。

< 企業経営者に話を聴く（第10回：今年度最終回）の告知 >

今年から始まりました企業経営者に話を聞くというテーマも間もなく10回目を迎え、今年を終了です。今回は以前ご紹介しましたアイコンテクノ（株）会長の金子和夫氏に話を伺います。当日は自らが執筆された『「脱原発」本当にこれでいいのですか』についても言及されます。当日の聴講はスタッフ以外の方も自由参加としますのでよろしければご参加ください。

【 日 時 】 平成24年12月3日（月）16:00～ 約1時間程度

【 場 所 】 神奈川県中小企業センター 6F 特別研修室

【 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 】

<異グ連 10 月度理事会報告>

報告者：宗和

異グ連理事会が10月3日、中小企業センターで開催されました。出席者は20名。内容は①金究議長（山勝電子工業）の産業NAVI環境大賞の受賞（9月6日授賞式）に関する報告②千田さん（JASPA取締役）の新潟航空機産業進出計画の報告③愛賢司理事からの中小企業条例活用大運動の提案④岩手大学のINS20周年記念大会への出席（9月6日～8日：島津俊之常務理事）、関東学院大学見学ツアーなどに関する報告をはじめとする様々な報告がなされました。報告の中にあつた新潟の航空機産業進出においてはとても興味深いものでした。これは経済産業省の「国内立地推進事業費補助金」（機械設備に最大2/3を補助）を活用し、市が中心となって取り組む「NIGATA SKY PROJECT」の一環として中小企業4社が共同出資し、新潟にジェットエンジン部品を製造する工場を建設するというものです。既に大手メーカーからその部品を受注できる見通しで、年間50兆円規模と言われる航空機産業に対し市が4年前から練ってきた構想が実ってきた形です。以上、理事会の報告でした。

異業種交流会シフト21 【<http://shift21.jimdo.com/>】

■11月定例会のご案内

- 日時 11月13日（火）18時30分～20時15分
（懇親会 20時30分～）
- 場所 かながわ県民センター306号室
- テーマ 「ソーシャルメディアを活用した企業広告宣伝最前線（仮）」
- 講師 株式会社トランス・メディア 三田一雄様

■異業種交流会シフト21とは

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に定例会（原則第2火曜日）を開催しております。ゲスト参加大歓迎です。お問合せ・お申込みは有村まで。arimura-c@nifty.com

<C&Sグループセミナーのご案内>

- 【主催】コンサルタント集団「C&Sグループ」（異グ連会員）
- 【後援】神奈川県異業種グループ連絡会議（異グ連）

1. セミナー名称： 「公的補助金獲得の秘訣」・・・<お申し込みは別紙にて>
開催日時： 平成24年11月21日(水) 14:00~17:00
開催場所： かながわ県民活動サポートセンタ406会議室
講師： 松井利夫氏
2. セミナー名称： 「5S活動による職場改善」（仮称）
開催日時： 平成25年1月23日(水) 14:00~17:00
開催場所： かながわ労働プラザ第5会議室
講師： 加藤文男氏
3. セミナー名称： 「海外進出に伴うトラブル対策」（仮称）
開催日時： 平成25年3月6日(水)又は13日(水) 14:00~17:00
開催場所： かながわ労働プラザ第5会議室
講師： 山本俊夫氏

受講料：会場費・資料代含む。各セミナー参加費1,000円/回

< 第133回・日韓ビジネス協議会 >

高橋 導徳

1. 日時：2012年10月24日(水) 午後3時00分～5時15分 協議会（～6時15分 懇親会）
2. 場所： 神奈川中小企業センタービル・・・5階 会議室
3. ○韓国企業紹介・・・株式会社 ナムホ 代表取締役 金 南鎬氏（プラスチック成型・その他）
○韓国・慶尚北道（庁）の紹介・・・（県庁）東京事務所 所長 李 相燁氏
○最近の日韓交流会の報告（財）日韓産業技術協力財団

日韓中小企業情報交流センター 所長 初瀬川 茂氏

○メイン講師・・・MT マネジメント代表 張 安德 氏

講演タイトル：「中国における労働環境の現状および課題に対する人事面、総務面での対応策について」

【要旨】 中国におけるここ数年の労働環境の変化や、人事面

総務面での対応策、企業の円滑な工場運営などに対する実務的な説明。

大都市災害：河川・冠水警報システムの活用について

近年、地球的気候変動の影響のためか集中豪雨などによる被害が数多く報告されています。特に大都市においては住宅の開発が進行し、急傾斜地や河川近辺の危険性が指摘されています。特に比較的短い鉄道橋や道路橋の下部で窪地になっている箇所では急激な出水による自動車等の通行が困難となり立ち往生し、危険な状況に陥る場合が少なくありません。神奈川県異業種グループ連絡会議では公益財団法人神奈川産業振興センターから受託した「産学交流サロン」開催事業の一環としてこの冠水問題に対しセミナーを開催します。

当日は国土交通省関係者を含む各市町村の各担当者様をお招きし冠水警報システムについて考えます。

既に横浜市内数か所に試験的に設置されている冠水警報システムが効果を発揮していますのでその報告や集中豪雨と都市災害についての講演を行う予定で、河川水位警報ユニット、冠水警報ユニット、冠水警報システムなどの展示も行われます。

【日 時】平成24年11月13日（火）11:00～17:00

【場 所】神奈川県中小企業センター 14F 多目的ホール

【主 催】神奈川県異業種グループ連絡会議

【協 賛】公益財団法人神奈川産業振興センター



冠水警報システム取扱い企業ホームページ

http://www.unimation.co.jp/products/kansui01.html?gclid=Clevhoup_7ICFShKpgod2B4A8Q

< 神奈川R&D特許流通コーディネート支援セミナー >

県内企業を対象に、神奈川県R&D推進協議会のメンバー企業をはじめとし、大手企業における環境・エネルギーの動向を踏まえた技術開発の取組。環境・エネルギー関連の解放シーズ、オープンラボを紹介。

【日 時】平成24年11月8日（木）13:00～15:00

【場 所】神奈川県産業技術センター：神奈川県海老名市下今泉705-1

【申 込】 Webサイトより申込（11月5日まで）

神奈川県産業技術センター <http://www.kanagawa-iri.go.jp/>

- 【 問合せ 】 申込関連：神奈川県ものづくり技術交流会事務局 045-819-2100 担当：深川 真輝
開催内容：財産法人神奈川科学技術アカデミー イノベーションセンター
044-819-2100 担当：大山 悟史、後藤 洋一
- 【 参加費 】 無料

★「新事業・新技術支援フォーラム」は2011年度分に遡って皆様にご報告いたしております。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の経過報告(その3)

異グ連事務局 松井利夫

第5回フォーラムは平成23年9月27日に開催。

議題は、①風力発電システムと、②岩手支援活動についてでした。

①風力発電システム(発表者：鈴木稔氏)

初めに、鈴木氏より「2重反転風車の利点について」と題して、風洞実験の結果をパソコンの映像を皆さんに見て貰いながら説明をされた。その結果は、翼が一重の場合に比べて約2倍強の高いパワーが出たことが報告された。1926年、ベッツがとなえた「ベッツの定理」では二重反転は成立しないので風車としては成立しないと言われていた。しかし、そんなことはない筈であると考えて実験を行った。風車の開発目的は、風車の製造を通して業界に仕事を持ってくることを考えているからであるとのことであった。

この説明に対して、他のメンバーから、大学や企業とタイアップして進めたらどうかの提案があった。鈴木氏からわが国では、洋上風車は陸上の風車より出力が大きいことから開発が進んでいる。現在ある風車は7000KWのものが最大であるが、重量750ton、径が140mの1万KWのものも開発されている。2重反転風車であれば、重量450ton、径が110mで出来るので利点があるとも説明があった。

②岩手支援活動について

芝氏より、岩手大学の清水先生から要請のあった支援物資のトラック輸送費が6万円余り掛かったのでカンパ活動をして集めたいと要望があった。奥寺氏からは、送る機械はあるが、それを誰が使うかが問題である、また、被災地は、今何を要望するか最新情報を教えて欲しいとも発言。芝氏からは、岩手の企業が継続して仕事をしていくのかどうか問題であると発言などがあった。

第6回フォーラムは、平成23年10月27日に開催。主として、9月2日にNEDOの補助金が承認されたことを受けて、「KAIHO エンジンに関するNEDOとの契約」についての説明が鶴野氏からあった。補助金の名称は、「新エネルギーベンチャー技術革新事業(バイオマス)」。テーマは、「多様なバイオマスの直接燃焼により熱電併合する新型外燃式機関の技術開発」である。計画によると、養鶏場の市場で当面300台から400台売りたい。現在、鶏糞処理で10万羽につき2000万円掛かっている。従って新型外燃式機関を導入すれば1500万円浮くものと思われる。事業化のための費用は5年余りで回収可能。とのことであった。

この後、芝氏から、「再生可能エネルギー特別措置法」の資料が配られて、意見の交換があった。

(詳細は配布資料参照方)

第7回フォーラムは、同年11月24日に開催。議題は①「神奈川県ものづくり技術交流会」異グ連関係の事例発表報告、②トリウム発電のその後、が主なもの。①の詳細については別冊の資料を参照ください。なお、②の「トリウム発電のその後」についても、「神奈川県ものづくり技術交流会」で古川氏から詳細な説明があったので内容の説明を割愛します。

産学官交流サロンコーナー (お申し込みは下記まで)

	尾上町サロン	西湘サロン 第41回	三浦半島経済人サロン 第53回	神奈川新産学公交流 サロン横浜 第53回
日程	10月19日(金) 11月02日(金)	11月12日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	9月28日(金) 18:00~20:30 開場は17:30~	10月17日(水) 18:00~20:00 開場は17:30~
場所	神奈川中小企業センター 5階 異グ連事務所	小田原市第三区公民館 小田原市栄町1-16-41 (駐車場はありません)	神奈川新聞社 横須賀支 社5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センター 5階 会議室 異グ連
連絡先		異グ連(島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	(織方、篠原、坂本、杉本)
内容	原則第一・第三金曜日 (17:15~19:30)	「森から海につながる物語～森の歴史と西湖地域の森の再生に向けて～」 小田原市役所 経済部 管理監：永井 壮茂 氏 参加費：1,000円	「世界1周旅行者が泊まる宿とは」会計的視点で戦略をたてる。 那須川税理士事務所 公認会計士・税理士 高梨 喜裕 氏：1,000円	「サリマンを辞して60歳で自営業に・・・」 リニューアルフ°ロテ°ュース 代表アパ°ンデ°ザ°イ° 有馬 俊一 氏 参加費：1,000円

事務局のコーナー

10月に入り、ようやく秋らしくなってきました。スーパーやデパートの食料品売り場で販売されている魚も徐々に脂がのりはじめ、自宅でも比較的好く頂けるようになりました。秋の風物詩として知られている秋刀魚ですが、近年売られている魚の表示にある変化が・・・以前は千葉の銚子産という表示を多く見かけましたが震災以降めっきり姿を消し、関東では北海道産というものが主流になっているような気がします。魚の表示にはとれた産地でなく水揚げされた地域を表示してもいいという業界ならではのシステムがあります。これ自体が良いか悪いかという判断はともかく、遠いから安心だという顧客心理を活用し、販売されている様な気がしてなりません。私達は日常の生活でもメディアから入ってくる情報に少なからず影響を受けています。今、**人気のあるスーパーでは正確な情報開示を提供**しています。例えば「この商品は少し味が劣るが調理の仕方でおいしく食べられる」とか「ここで採られた魚は・・・」などの情報を提供しています。私達の多くは良いことも悪いことも知った上で判断したいわけです。これからの生き残る企業は顧客満足を促進し世の中から賛同頂けるような会社作りを目指しているところなのかもしれませんね。



「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつなげる「役立ち情報誌」となります。お気軽にご投稿下さいませ。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いません。

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①③④荒 直孝 ②⑤村田和彦 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】①愛賢司②③④⑤杉本 明子(芝)

【木】松井 利夫 【金】①芝③村上②④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail masahito@ab.bb-east.ne.jp 宗和(そうわ) 携帯: 090-5556-8238

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel: 045-633-5142 Fax: 045-633-5194